

ともに生きる

令和2年度 第5号

【今年を振り返って】

日ごろはPTA活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年は特に新型コロナウイルスにより授業や部活動が自粛、待機、そして多くのことが変更となり、例年とは違う学校生活を過ごすことになりました。保護者の方においても、不安な気持ちが多かったことと思います。

その中でも西部中学校の生徒の皆さんは前向きに笑顔を絶やさず学校生活を過ごし、校長先生をはじめ、先生方はそんな生徒たちの思いを受け止めて、一生懸命取り組んでいただきました。先生方には、西部祭でのグラウンド整備、修学旅行の度重なる計画変更など、いつも子どもたちのために全力を注いでいただいたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

来年度から学校運営委員会も設立され、地域の方々のご支援やご協力が必要となる場が増えると思います。ぜひ保護者の皆様にも、学校教育に対し、これまで同様のご支援をいただき、さらによろしい学校になるよう今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

《西部中学校 PTA 会長 森 利章》

【主任児童委員として】

東浦町には小学校区ごとに7人の主任児童委員がいます。主任児童委員は子どもたちが元気に暮らせるよう、子どもや子育てに関する悩みに皆さんと同じ地域住民の立場から相談に応じ、必要な制度やサービスにつなげる役割を担っています。

また、生後3か月過ぎの赤ちゃんとお母さんを対象として「赤ちゃん訪問」を実施しています。お母さんから赤ちゃんの様子や心配ごとを聞いたり、地域の子育てに関する情報を提供して赤ちゃんの誕生をお祝いしています。

この活動に参加し1年が過ぎました。最初は戸惑うことも多くありましたが、出会いが数多くあり、苦労も喜びも分かち合える仲間が地域にできたことは最大の喜びです。

これからも地域の皆様と共に、私のできることをお手伝いしたいと思っています。よろしくお願いいたします。

《西部中学校区 主任児童委員 伊藤真奈美》

【想いをつなぐ】

4月から例年とは違う中での学校生活でしたが、気付けば卒業・修了の時期となりました。どの学年でも、子どもたちは大きく成長している姿を見せてくれています。

今年度はにこにこ団活動も中止や変更を余儀なくされることが多くありました。しかし、6年生は卯ノ里小学校のリーダーとして「今できることを」と前向きに考え、一生懸命取り組んでくれました。6年生が一年間みんなのために努力し、がんばってきた姿を見てきた下級生は、今「団お別れ式」のために準備を進めています。1年生と2年生はメダルづくり、3年生と4年生は王冠づくりを任せられ、それぞれに団の6年生を想いながら丁寧に作っていました。6年生へのメッセージカードには、感謝と尊敬の気持ちがあふれていました。6年生の日々の努力と成長が、下級生の成長にもつながっていると感じています。よりよい一年の締めくくりになるように、最後まで職員一同支えていきたいと思えます。

《卯ノ里小学校 生徒指導主任 長谷川麻紀》

【未来に向かって】

西部中学校では、3月3日（水）に卒業式が行われます。在校生が2月25日（木）に行われる予餞会の準備に汗を流す一方で、卒業生はそれぞれの進路に向けて着実に前進しています。卒業生はだんだんと大人の顔つきになり、在校生にとってよいお手本となる姿を見せています。その姿から、在校生はそれぞれに先輩から激励のメッセージを受け取っているように見受けられます。普段の西中生の様子を見ていると、卒業式当日はもちろんですが、式が終わった後も「気持ちよく」毎日の生活を送ることができると思います。

《西部中学校 生徒指導主事 須崎 亮輔》

東浦町夢プラン
わが街KYODO隊
この街に花とあいさつとボランティアを
西部中学校